

知りたい!

新しい図書館と こもれびパークと どこなところ?

教育政策課

☎ 21-1777

新しい「別府市立図書館」は「別府市共創交流拠点こもれびパーク」と共に誕生します。

令和8年3月の開館を目指し、市役所西側の別府公園文化ゾーンに建設中の複合施設の概要をお知らせします。

ネットワークスペース

学校など、図書館と連携する施設に資料を提供するためのスペースです。

最大収容冊数

約 32 万冊!

延床面積

約 5,000 m²

一般開架

誰もが利用しやすく、知りたいことをより深く学べるように、5段組の書架を基本に、書架と書架の間を広くして配置します。本と出会うように壁面にも書架・展示架をつくります。閲覧カウンターの一部には、車いすの人も使いやすい電動昇降式の机を設けます。

ラーニングcommons

図書館の中心にあり、本や情報を活用し、市民の皆様が共に関わり合いながら学び合ったり、活動したりする場です。約 460 m²の仕切りのない空間に椅子とテーブルを置き、偶然の出会いから生まれる交流や活動を支援します。

1 階

アクティブcommons (交流サロン)



自然光を生かした開放的な空間です。カフェでくつろいだり、ブラウジングコーナーで雑誌を自由に読んだりできます。約 410 m²の広さがあり、世代や特性を超えた交流や図書館と連携したイベントなども行えます。

おはなし室

靴を脱いで利用するスペースです。紙芝居や絵本に囲まれて、おはなし会など親子でくつろげます。

3つのcommonsは、一人

一人が幸せを実感できる居場所として、夢や目標の実現と地域課題の解決に役立つサービスや機能を提供し、人々の多様な創造的活動と交流の場を創り出すことを目指しています。

木漏れ日がふりそそぐ緩やかな傾斜地に4つの建物を配置します。海側から山側に向かって、1階がアクティブcommons(交流サロン)、2階・3階がラーニングcommonsを中心にした図書館、別棟がクリエイティブcommons(多目的ホールとスタジオ)と地域・郷土資料館です。

新しい図書館とcommons

3階

開架書庫

これまでは利用者が実際に本を見て選ぶことができなかった書庫を公開します。誰でも自由に入室し、発行年数が経過した資料なども利用できるようにします。

・個人閲覧ブース

閲覧コーナー

吹き抜けに面した3階部分に、利用の用途にあわせて座席を選べるカウンター席と個人ブース席を設けます。

イメージパース（鳥瞰図）

クリエイティブcommons (多目的ホール・スタジオ) ※有料

各種講座やセミナー、展示会など、多様な活動ができる創造と協働の場です。ホールの広さは約100㎡です。スタジオは音響設備を備えた防音仕様で、音楽などの練習ができます。

読書支援室

図書館利用に困難を抱えている人をサポートし、落ち着いた環境で資料を閲覧してもらうための部屋です。

・静寂読書室

2階

・多目的ホール

・スタジオ

・収蔵展示
・ラウンジ

ウッドデッキテラス

・グループ室

別棟

地域・郷土資料館

温泉と共に発展してきた別府の歴史をテーマに貴重な資料を収蔵展示します。映像展示も行い、小規模なイベントやワークショップなどを行う体験・交流スペースもあります。

児童開架

木漏れ日を感じられるやさしい空間です。子どもの成長段階にあわせて本に触れられるよう書架は2段と4段をベースにした高さ設定にします。



マークはこもれびパーク

こもれびパーク、誕生

別府市立図書館と併設する地域交流センター（仮称）の正式名称を別府市共創交流拠点こもれびパークに決定しました。市民の交流を深め、情報との出会いを促進します。

木漏れ日は英単語に直訳できない美しい日本語の一つです。別府公園の木々から射し込む木漏れ日（こもれび）と公園（パーク）を組み合わせました。別府市の他の公共施設（ほっぺパーク、すきっぷパーク、おひさまパーク）との共通性もあり、呼びやすく、親しみやすい名称です。

みんなの「よりどころ」に

こもれびパークには賑わいが溢れ、緑に包まれた開放的な空間からは本の存在を感じるができます。新しい図書館とこもれびパークは、多様な出会いを大切にし、誰もがふと立ち寄りたくなるような「よりどころ」になります。